

## 2025年3月1日よりフィルム出力・印画紙出力及びインクジェット出力 料金改定のお知らせ

平素は格別のお引き立てありがとうございます。

貴社におかれましては、ご隆盛のことと存じ上げます。

さて、我々フィルム・印画紙の出力業界においては社会環境の変化による物価・サービス費の値上げによりまして現状価格での営業は困難になってまいりました。

以下の事象が主な原因です。

### 1 原材料価格の値上がり

既に実感をされておりますでしょうか、近年における日本経済は円安等による物価高で原材料・エネルギー価格が値上がりしております。度重なる原材料の値上がりに対し、弊社では営業努力などをしましたが限界に達しました。

### 2 イメージセッター補修・保守費の値上がり

イメージセッターは製造の中止から25年が経過しました。現在は現状のイメージセッターは販売しておりません。

メーカーでは部品も欠損し、補修できるサービス員も少なくなりました。

メーカーに存在しない部品は海外からECサイトを使って直接取り寄せたりしていますが、円安の影響でコストが高くなっています。

そして、修理するメーカー側の人件費高騰で保守費用が増加しました。

機械の老朽化や薬品の変更により、定期メンテナンスしている専門業者への依頼は以前より2倍以上の頻度で行っています。

### 3 金融機関からの借入負担・倉庫代の発生

2024年7月に富士フィルムからフィルムの製造・販売の終了を突然に通知されました。

弊社ではこれに伴い纏め買いをすることに決め、温度管理ができる倉庫を借りました。

金融機関から資金借入の金利負担、倉庫費用などで製造コストを引き上げる結果となりました。

以上の結果、この環境下にあっては現状通りの営業が困難になった為、2025年3月1日より、別紙の通り、フィルム・印画紙・インクジェットの出力価格を改訂させていただきます。

どうかご了承ください。